



東吾妻町

議会だより

第22号

平成23年8月1日

発行：東吾妻町議会



6月定例会

- 人事案件・補正予算など可決……………2P
- 「町の防災・震災対策は」
など5議員が一般質問……………6P
- 議会見学の感想文（東中学校3年生）……………9P

にぎわいをみせる原町祇園

人事案件・補正予算など可決



**教育委員に
篠原勝雄氏**
(本宿)

新たに篠原勝雄氏を教育委員に選任することに同意しました。

篠原氏は昭和40年より、38年間にわたり主に郡内の小中学校に勤務されていました。任期は4年です。



**副町長に
渡辺三司氏**
(須賀尾)

渡辺氏は、昭和49年4月より東吾妻町役場（旧吾妻町）に勤務し、農政・保健・企画・教育行政と幅広く携わり、総務課長、建設課長を歴任されました。

平成23年第2回定例会は、6月7日から15日までの9日間の日程で開催されました。町長より、副町長の選任をはじめとする人事案件、条例の制定・改正、一般会計補正予算など議案12件が提出されました。また、議会運営委員会による特別委員会の設置3件も提出され、いずれも原案どおり可決しました。

一般質問では5人が登壇し、町政をただしました。

■懲戒審査委員会委員を選任■

任期満了に伴い、引き続き市場和政氏（弁護士）と、横山幸正氏（弁護士）の両名を選任することに同意しました。

任期…平成23年6月30日から
平成25年6月29日

■烏帽子山植林組合議会議員■

補欠選挙で、町議会より佐藤聡一、樹下啓示、山田信行、轟 徳三、茂木恒二の5名が選任されました。

任期…平成25年11月30日
(残任期間)



**監査委員に
茂木恒二氏**
(箱島)

町の監査委員2人のうち1人は、議員の中から選任することになっています。

新しい監査委員に茂木恒二議員を選任することに同意しました。任期は4年です。

平成23年度補正予算

会計名	補正額	予算額
一般会計	136万円	84億1,918万円
国民健康保険特別会計 (施設勘定)	32万円	8,296万円
特別養護老人ホームいわびつ荘 運営事業特別会計	98万円	2億2,420万円
下水道事業特別会計	710万円	5億5,342万円

一般会計（主なもの）

○財政調整基金積立金追加・・・4,346 万円

災害救助費

○東日本大震災の被災者受け入れに係る食料費や宿泊施設借上料などを、杉並区で負担する事による減額が 4,257 万円となりました。

また、南相馬市に対する見舞金 500 万円を追加しました。

補正総額は、3,757 万円減額となりました。

住宅管理費（木造住宅耐震診断委託料）

○昭和 56 年以前の住宅に係る耐震診断委託料 1 件につき 3 万円を 10 戸分・・・・・・30 万円



Q & A

Q 補正内容を見ると
新年度が始まって2カ
月での補正が必要なの
かと感じる。当初で計
画するべきものもある
と思うので、今後検討
してほしい。

A 町長 その通りだ
と思う。これから努力
していきたい。
Q 木造住宅耐震診断
委託料であるが、町内
の対象件数が分からな
い。今回の補正は、震
災を受けての予算付け
と思う。

しかし、年間10件で、
対象件数が膨大であつ
たら何十年かかるのか。
その間に災害が起きた
らどうするのか。震災
を受け件数が増えるこ
とも想定される。安心
安全な町づくりと、町
長は言っているのに、
悲惨な事故が起きない
よう町民にしっかり伝
わるような努力をして
もらいたい。

A 建設課長事務取扱
対象物件は昭和56年
5月以前に建築された
一戸建て又は併用住宅
町内戸数は把握してい
ない。平成20年度から
行っていた事業だが、
申し込みはなかった。
県・国からの要請や、
震災もあって、急ぎよ
く制定した。何件申請が
あるか想定できないの
で、広報等で周知して、
申し込みが多くあれば、
今後も補正等をお願い
したい。

3つの特別委員会を設置しました

行財政改革推進 特別委員会

「仕事の範囲」①集中

改革プランに関する事項についての調査②町営施設運営に関する事項についての調査

委員長 金澤 敏
副委員長 樹下 啓示
委員 山田 信行
茂木 恒二
青柳はるみ
須崎 幸一
橋爪 英夫

ハッ場ダム対策 特別委員会

「仕事の範囲」ハッ場ダムに関する諸問題についての調査

委員長 水出 英治
副委員長 佐藤 聡一
委員 根津 光儀
轟 徳三
須崎 幸一
浦野 政衛
一場 明夫

議会広報対策 特別委員会

「仕事の範囲」議会広報に関する調査・研究について

委員長 須崎 幸一
副委員長 轟 徳三
委員 根津 光儀
樹下 啓示
水出 英治
茂木 恒二
青柳はるみ

企業誘致を促進します

今までの工場設置奨励条例に代わり、企業誘致を促進し、地元雇用などの拡充を図っていくことを目的に制定されます。

(平成23年6月16日施行)

Q & A

Q 対象産業と優遇措置の指定要件は、規則で定めず、条例の中で

規定しておくべきと思う。基本的な部分が条例の中にないと、審議の時内容の理解がでないが。



商店などでにぎわう原町バイパス

A 産業課長 他町村でも規則で定めているところもあり、それを参考にさせていただいた。今まで工場だけだったのが、業種を広げたので、規則で定めた方がいいということになった。

Q 町外から誘致する企業だけでなく、町内企業、個人事業者も要件を満たせば対象となるという確認はした。

A 町外から誘致する企業だけでなく、町内企業、個人事業者も要件を満たせば対象となるという確認はした。しかし、規則で業種を限定しようとする理由がわからない。このままだと産業によって差別が生じ、公平公正を欠くことが懸念される。理由を明確に説明してほしい。

A 産業課長 町に進出していただけるような企業を選ばせていただいた。

Q 例えば外食産業のレストランなどが進出する可能性があると思うが、それは配慮していない。町が考えた進

出を希望してくれそうなどところだけを選んだという答弁でいいのか。

A 産業課長 弾力的な部分があるので、規則の中で見直しもできるといことで、選んでもらった。

Q 条例・規則に弾力的運用は無い。対象産業は再度見直し、配慮して規則制定をする考えはあるか。

A 町長 地域の社会条件、経済条件、就労関係も配慮し、可能性のある職種を広範囲に取っていきたい。

Q 奨励金は近隣市町村と比較してどうなのか。

A 産業課長 他市町村も同様に、固定資産税相当額を奨励金としている。

Q 新規雇用数が3人以上とあるが、町内在住者には限らないのか。

A 産業課長 町内在住の住民に限る。

採択となりました

総務建設常任委員会で審査

◎公衆用道路の拡幅改良についての請願

大戸下宿区長 田村 喜好

紹介議員 佐藤 聡一



◎道路改良に関する請願（内野山田川線）

在上区長 高山 准一 ほか3名

紹介議員 山田 信行



みなさんからの 請願・陳情

今定例会では、請願2件、陳情1件を所管の委員会で審査しました。

審査の結果が本会議で報告され次のように決まりました。

◎町道「鳩の湯線」の拡幅改良

についての陳情

須賀尾4区区長 湯本 光

須賀尾6区区長 高橋 明 ほか1名



総務建設常任委員会で現地を視察しました

町長より報告

平成22年度東吾妻町土地開発公社の経営状況が報告されました。

中学生以下の子供を持つ土地購入者に対する割引制度や、社団法人県宅地建物取引業協会との、住宅用地分譲に係る、顧客紹介協定を締結するなど、田野原、舞台団地2区画の残地販売促進に努めましたが、販売実績はありませんでした。

22年度決算は収益的収支において12万5,698円の損失となりました。

また資本的収支は収入・支出とも6,000万円となり、借入金の借り換えのみとなりました。

その他の議案

◆税条例の改正

東日本大震災被災者のための条例改正で、被災された方が当町に転入された場合、該当となります。

（平成23年6月16日施行）

◆群馬県市町村総合事務組合の規約変更



一般質問

町政を問う



よる花植作業

町の防災・震災対策は

答 財政状況を考慮し見直し検討



金澤 敏議員

るか伺いたい。

Q 東日本大震災は、未曾有の大災害になった。平成19年12月「東吾妻町地域防災震災対策計画」を制定したが、今回の大震災を受けて見直しを行う考えがあるか。

A 「震災対策計画」は阪神淡路大震災を教訓に各自自治体の役割や責任、対応方法などを決めたもの。東日本大震災は、経験のない事も多く、今後町の防災対策を再構築・見直しをして、より強固なものにしていくことが重要と考えている。

Q 避難場所となる学

校や公共施設等の耐震化の進捗状況について伺いたい。

A 避難場所として指定している26箇所の学校、公共施設の耐震化は、基準に満たない施設が7ヶ所あり、計画的に改修している。

一方で、工事には多額の費用がかかるため、財政状況を考慮し検討したい。

Q 放射能汚染が危惧されている中、子供たちの安心安全を考慮し、簡易的放射線測定器を

設置し、当町でも真剣に取り組む姿勢を示す必要があると思うが。

A 放射能対応は、県子育て支援課及びスポーツ健康課で町内保育所、幼稚園、小中学校において測定している。また教育事務所ごとに1ヶ所、プールの測定を週2回行い、ホームページで公表している。これらの数値が想定を超える場合には測定器の設置を含め対策を講じる必要があると考えている。

Q 東京電力は再度計画停電を実施するようであり今回は当町も区域に入っている。節電目標として昨年比15%減を求められている。当町の節電計画を示してほしい。

A 町では、毎戸にチラシを配付し、節電を呼びかけ、庁舎内では、蛍光灯の間引き、緑のカーテン、冷房の控えめ運転、パソコンモニタースイッチ切断等取り組みを進めている。

ボランティアにポイント制度を 答 実施に向け準備



青柳はるみ議員

Q 群馬県では仮称『群馬はばたけ通帳』という介護施設でのボランティアに対し、ポイントをつけ、介護保険料に反映する制度の検討を始めた。協働の町をより啓発するため、

町として準備をしているべき。
A 元気な高齢者が介護現場でボランティア活動を行なうことにより、本人の健康増進や地域貢献を通じた生きがいづくりを促進する。その観点から県で事業が始まる時には遅れることなく実施できるように準備をしていきたい。



須崎 幸一議員

町の医療と福祉行政について

答 町の医療機関と福祉団体に支援を実施

医療行政について

Q 公的な原町日赤病院を含めた医療機関との関わり方についてどのような考えか。

A 原町日赤病院の機能充実を図るために医療機器整備や病院建設資金利子補給として補助金を予算計上している。また、吾妻准看護学校補助金も予定して

いる。原町日赤病院以外の病院に対する関わりや支援としては、町としてそれぞれの医療機関に対し、事業への協力を要請している。今後、町で支援できるものがあれば検討していきたい。

Q 医療の情報についての取り組みは。

A 広報活動は区長を通じて医療情報の提供をしている。また町の

福祉行政について

防災マップに医療機関を掲載して毎戸に配布している。今後についても、町民の意見を聞き、医療の充実を図っていきたい。

Q 社会福祉協議会に対する町の関わり方について。

A 地域福祉推進の中核的存在であり、シル

アドプト制度で花植えボランティアへの支援を

Q 水仙街道、桜の場所、空き耕作地での花栽培など花に対する住民の意識は高いものがある。また花苗を提供してくださる農家や、中之条高校がある。花壇を維持し、植栽して

いる人の心は、美しく咲く花と景観を見ての満足感と、これに関わる人との和気あいあいの人間関係である。多くの人の手により町の美化が保たれていることを伝えるために、アドプト制度（花の養子縁組）を提案する。

A 町内の多くの公共の場でボランティアの

皆さんによって花が植えられ、訪れた人の目を楽しませ、地域の気配りまでも感じさせてくれる。多くの人により環境美化が支えられていることを見逃しやしない。関わっている人たちの励みにもなり、より多くの人に参加していただくためにも導入していきたい。

A 社会福祉協議会に事業委託し、東地区で週2回循環バスを運行している。行き先は国保診療所と桔梗館である。現在のところ、事業拡大は考えていない。

Q 交通手段を必要とする町民への支援について。

A 高齢化率が高く、将来は運転免許証を返納する町民が多くなることを予想される。そうした状況を考えた場合、路線バスの利用促進について検討したい。



ボランティアに

群馬DCを観光産業推進のチャンスに

答 地域・関係者と連携し観光推進を図る



一場明夫議員

Q 事業内容は単発的で町としての方向性や計画性が感じられない。町内には発展する可能性のある観光資源がある。B級グルメの開発

A ボランティアガイドの組織もできたので町の魅力をPRできると期待している。DCをきっかけに推進計画を図りたい。

や道の駅整備等、地域活性化のための基本プランを立て、推進体制の整備を図るべきだと思うが。

A 町小口資金融資促進条例に定める融資を受けた者に限り、運転資金の利子補給を50%から75%に引き上げる改正を行ない、産業課と支援体制を研究していく。

当面のハツタム対策は

東日本大震災に伴う企業への支援は

Q 国の検証結果が出される前に町内で約束した事業の実施に対し、国から確約を取る努力をし、必要な行動をしていくべきではないか。

A 検証作業の経過を注視しながら、必要な時期に、必要な申し入れができる体制を整え、迅速な行動が起こせるよう対応していく。



Q 震災後の町内企業の実態を把握して、町として支援対策を講じることが必要だと思う。町内企業等への受注機会の拡大を講じることも企業への効果的な支援策だと思うが町長の考えはどうか。



橋爪英夫議員

Q 当町で行っている特定健康診査、特定保健指導の結果。ガン検診の受診状況はどうか。

A 当町では、国民健康保険特定健康審査等の実施計画を定め、広報活動をしているが、大変厳しい状況にある。がん検診については、集団検診から精密検診まで時間がかかり、受診率も上げにくい。がん検診も実施に向けて検討していきたい。保健指導専門職は増員されたが、介護認定調査が増える一方なので、配置を検討していきたい。



検診時には手狭な施設と、公民館と併用の駐車場

保健事業の取組状況は

答 計画に基づいて受診率向上に努める

Q 老朽化している保健センターの建設予定はあるのか。

A 保健センターは昭和62年の建設であり、建設の計画はない。

Q 保育所・幼稚園・小中学校の安全対策について、現状と今後の対応を伺いたい。

A 保育所・幼稚園・小中学校の安全対策としては、通学路安全マップの制作、ボランティアによる登下校時の見守りなどお願いしている。また、保健室へのエアコン設置、耐震補強工事も計画的に進めている。

Q 安全対策として、防犯カメラの設置、学校ボランティアに目立つ服装を用意したらと思うが。

A 防犯カメラは実施の方向で、服装についても検討していきたい。

中学生が議会を見学

東中学校の3年生が、6月定例会最終日の15日に見学に訪れました。後日いただいた感想文の一部を掲載させていただきます。

「議会を見学して」



山田 悠介さん

議会見学をして思ったことは、町の議員さんが私達町民のために、各課の課長さん達と様々な話し合いをされていて、本当にありがたい

ということでした。普段生活をしていると気づかないところで、私達のために町がしてくれているものがあります。そういった話し合いの結果だということを知りました。私達町民が気づかないところでもしっかり私達の事を考え、支えて下さっているのだということを強く感じました。

私はこれからの生活で、どのようにすればもっとこの町が良くなるのかを考えて、その考えを発信していきたいらと思います。そのためにも日頃から、自分の身の回りのことに目を向け、よく考えていきたいです。そして、自分以外の人にも「町が良くなる発信」ということをできる人が増えていけば、この東吾妻町はもっといい町になると思います。



大塚 有紗さん



私は今まで議会というものにあまり興味を持たなかったのですが、議会の傍聴に行くと聞いたとき、どんな感じなんだろうと不思議な感

じがしました。そして行ってみるとそこには一つ一つの議題に集中して話し合っている姿がありました。クラスでのほんわりとした話し合いとは違った、ピリッとした緊張感のある空気、ああ、これが議会だなと思いました。

妻町の事を考えているからだなど強く感じました。議会を最後まで見られなかったのが、少し残念でした。

私はこの議会の傍聴で、自分の知らない所で自分の町についてこんなに真剣に話し合っている人達のことを身近で見る事ができました。私も町民として自分が何をできるのかを考えて行動していきたいです。

議会を傍聴してみませんか

**次回の定例会は
9月6日開会予定です**

議場での会議は、特別な場合を除き公開されています。傍聴の手続きは、役場本庁舎3階議会事務局で住所・氏名・年齢を書いていただきます。

お問い合わせ

電話 68-2111 議会事務局まで

委員会の動き

文教厚生常任委員会

6月9日 特別養護老人ホームいわびつ荘の現地調査を行いました。



50人満床の施設で16人の正職員、16人の臨時職員で運営しており昨年スプリングラーを設置し、安心してすごせるようになったとの事です。入所時に介護度3以上でも、施設でのリハビリ、食事等の介護を受ける事により介護度が軽くなる人が多く喜んでいる事等の説明を施設長より受けました。

委員の質問に対し、入所者の平均年齢は87・42歳、平均入所者在所期間は2年8ヶ月で待機者は112人との答えでした。

週2日ボランティアの皆さんに入っていただき、大変助かり感謝しているとの事でした。3月11日の東日本大震災により、いわびつ荘の屋根瓦にずれが生じたため、これからの雨や台風の季節に向け、早急の修理が必要と確認を行いました。

八ッ場ダム対策特別委員会

4月の統一地方選により、委員会も新メンバーになりました。

民主党のダム中止発言以来、委員会で検証してきた検証結果報告書を、昨年12月に関係機関へ提出しております。

6月13日には、委員

会を開き、ダム対策の経過、関連事業の進捗状況、今後の予定について、国・県・町の説明がありました。

【国関係】今年度は、生活再建の関連事業費として、約153億円の予算が付き、道路・鉄道

行財政改革推進特別委員会

6月10日 7名の委員のうち4名が新たな構成員となったので、第2次行革大綱と実施計画（集中改革プラン）の付託事項を共通認識とするため、説明・解説を求めました。

企画課長より、第2次行政改革大綱が4月

理を推進していく上での始めの作業着手になるとのことです。

総務課長からは、定員・職員給与の適正化に関し、適正な給与水準維持のために、12月議会までには何らかの提案を出す方向で検討していくとの説明がありました。

町営施設に関する事項は「あり方検討委員

会」を2カ月に1回程度開催し、残りの町営施設全般の検討を行っていつてもらう方向であるとの事です。

第2次実施計画の中に新たに盛り込まれた、役場庁舎建設は、様々な選択肢を総合的に判断し、期限を決め検討を始めていくことの発言がありました。



6月22日開通した三島地内 県道林岩下線



天狗の湯とふれあい公園の花壇

等の基幹施設の整備、代替地の整備を進めていくとの事です。

また、ダム建設検証に係る検討の今後の予定と、第5回幹事会に提示された利水4案、及び洪水時の基本高水の検証について、情報提供がありました。

【県関係】県の本年度ダム関係予算は、58億円、東吾妻町分は17億円となります。

道路では、県道林岩下線・町道五二八四号線の天狗の湯付近から岩島駅前まで開通。145号八ッ場バイパスは、暫定踏切を設置し、供

用を目指すとの説明がありました。

また、川原畑大戸線は、事業費ベースで83%、着手率70%、供用率50%で進んでいるとの報告がありました。

【町関係】天狗の湯オーブンから一年、営業収支比率は108・6%と若干の黒字となりました。

ふれあい公園については、全体計画の説明が完了し、9月発注を目途に修正設計中とのことです。

十二沢パーキングは、上水道の引き込みが全長九三三メートルのうち、約七〇メートルが完了し、今年度は擁壁と造成を実施予定です。

松谷六合村線については、事業費の超過による下流都県協議と、近接する源泉の調査状況の報告がありました。

議 案 の 審 議 結 果

議案名等	議員名簿	出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	議決日
							菅谷光重	佐藤聡一	根津光儀	樹下啓示	山田信行	水出英治	轟徳三	茂木恒二	金澤敏	青柳はるみ	須崎幸一	浦野政衛	一場明夫	橋爪英夫	
第 2 回 定 例 会 平成23年6月7日～15日																					
八ッ場ダム対策特別委員会設置に関する決議		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/7
行財政改革推進特別委員会設置に関する決議		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/7
議会広報対策特別委員会設置に関する決議		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/7
副町長の選任について		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/7
監査委員の選任について		13	-	12	0	可	-	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	6/7
懲戒審査委員会委員の選任		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/7
懲戒審査委員会委員の選任		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/7
教育委員会の委員の任命		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/7
税条例の一部改正		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
企業誘致奨励金交付条例		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
一般会計補正予算		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
国民健康保険特別会計補正予算		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
特別養護老人ホームいっわびつ荘運営事業特別会計補正予算		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
下水道事業特別会計補正予算		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/15
群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/7

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席
議長は採決に加わりませんので「-」で表示しています。(議長 1番 菅谷光重)
※…地方自治法第117条により、本人除斥。

まちの声

「この町に来て12年」

かわ ぎし あき とし
川岸 昭稔 さん
(植栗)



今から12年前の5月、縁あってこの町に居を構えることになりました。
子供の誕生と家の完成が同時になって、てんやわんやのかなり強行な引越し日程だったのを覚えて
います。

私も妻も他県出身者なもので、親戚もなく頼れる知人もほとんどいない中での生活のスタートで
した。

見渡せば水仙畑が広がり、キジが駆け回り、深夜にはフクロウの鳴き声が聞こえる、そんなのど
かな環境のなか、隣保班の方々にも、あたたかく迎え入れてもらえ、そういった不安感はすぐ無く
なりました。

そのうち色々な行政区の役が回ってくるようになり、地域の仕組みや町のこと等、今まで暮らし
てきた土地では全然興味のなかった事が、実はコミュニティーの形成上とても重要なことであり、
やると結構楽しいということに気づきました。

また、世間も次第に広くなり、お付き合いの輪も徐々に広がっていきました。誘われるがままに
あちこちの行事や活動に関わるようになり、おかげで無趣味だった私が柄にもなく、ライブ鑑賞・
阿波踊り・雅楽の演奏などをたしなむようになりました。

太田地区は住民の団結力、行動力が特に強い所だと思います。学校に対する地域の協力も素晴ら
しいものがあります。とかく人間関係が希薄になりがちな世の中の風潮がありますが、これからも
お互いに興味と思いやりをもって、積極的にいろんな方と関わって、せっかく田舎に暮らしたので
すから、大いに楽しんでいきたいものです。

駄文にお付き合いいただいてありがとうございました。

編集後記

去る4月24日に町議会選挙が実施されて14名の
新議員が誕生しました。それによりまして、編集
委員も新しくなりました。どうぞよろしくお願
いいたします。

さて6月定例会では、人事案件を中心に条例案
や補正予算案等の審議が行われました。「議会だ
より」で、その内容をわかりやすく、正確にお伝
えることに努めて編集をしました。

なお、議事録等は、議会のホームページが開設
されておりますのでご利用願います。

町民の皆様、議会傍聴にぜひお越しください。

議会広報対策特別委員会

委員長 須崎幸一



新しい編集委員